



QUESTって何？ 研究推進部通信について紹介します。この通信は主に「理科・数学・国際交流の有益な情報や雑学」を紹介しています。では、そのタイトルとなっている「**QUEST FOR THE TRUTH**」の QUEST ってどんな意味だと思いますか？「ドラゴンクエスト」なら知っている人も多いはず。QUEST とは「探求・冒険の旅」という意味があります。その変化形が皆さんも知っている QUESTION ですよね。今年も皆さんが「探求」したくなるような様々な情報を発信していきます。さて、今回は「国際性に富む人材育成留学事業」を利用して長期留学（10ヶ月程度）している生徒達のレポートを紹介します。

美波里さんのフィリピンレポート

こんにちは！フィリピン派遣の崎山みなりです。9ヶ月めですが、来月には帰国なのでこれが最後のレポートになります。今振り返ると、この9ヶ月間と少しの留学生活、楽しいことも辛かったことも含めてわたしの大きな財産になったと思います。

私がフィリピンを留学先に選んだ理由は、英語が学べると同時に日本とは違うアジア独特の文化またはフィリピンのミックス文化を肌で感じたいと思ったからです。しかし、初めの頃はその異文化こそがわたしを悩ませる原因になり、わたしの思い描いていた楽しい留学生活とはかけ離れていました。たくさん悩んだ末、自分のなかで日本との違いや相手の考え方をだんだん受け入れられるようになっていき、その中でも自分らしさというのを忘れなように心がけました。これは、この留学生活で私の考え方や相手との関わり方などをすごく変えたことだと思います。

また、フィリピンの良いところは人がすごくフレンドリーで、私のような留学生にいい体験をさせてあげようという懸命考えてくれるところです。私は、フィリピンで自分の本当の叔母さんといってもいいほどの Tita(おばさん)ができて、彼女のおかげでたくさん場所へ遊びに行くことができました。パラワン島の観光地や珍しい場所などはほとんど行き尽くしたと思います。クラスメートにもパラワン島にすむ私達より、いろんな経験ができてよ！と羨ましがられました。フィリピン人は初めて会った人でも、1日しか一緒にいない人でも、すぐに友達になることができ、1つ1つの出会いを大切にしているこの国に一期一会という言葉はぴったりだなとおもいました。私も学校だけでなく、ホストファミリーの親戚や友達、日本にいる時よりも色々な人に会える機会がありました。

1年という長期間だからこそ、フィリピンの良いところにも悪いところにも気づけたと思います。その気づきこそが留学前の私と今の私を大きく変えたと私は思っています。この留学を通してこんなに素晴らしい体験が出来たこと、私に関わってくれたすべてのひとに感謝したいです。大学生になったらフィリピンにまた帰ってきたいです

恵美里さん上海レポート

皆さん、こんにちは。中国から宮里恵美里です。いよいよ新学期がスタートしますね。三年生にとっては受験を控える大切な1年だと思います。私も帰国したら皆さんと一緒に頑張りたいと思います！1年生とはまだ会ったことがないのでドキドキですね！（笑）2年生は学校生活にも慣れてきて油断する時期だと思うので、気を引き締めて頑張ってください！

まずは近況報告からしていきたいと思います。2月23日から新学期が始まりました。私が勉強している語学班は学期ごとで人の入れ替わりが多く、今学期は新しく韓国人の女の子とドイツ人の女の子が入ってきました。色々な国のと一緒に語学を勉強するのは刺激になるし、毎日とても楽しいです。私は個人的に韓国人と日本人は笑いのツボや感性が似ているなと思います。日本の話題になると必ずアニメや漫画の話が出てくるので、その辺の知識も大切です！（笑）韓国の子が最近韓国ではハイキューが流行っていて、バレーボールブームがきていると言っていました。他の国の人から聞く日本のことはとても面白いです。私のクラスでは日本の目録の種類が豊富で色が綺麗とかアイボン、アイマスクなどの日本製品が支持されています。日本製品の強さを感じました。（笑）

今回は中国の SNS 事情と買い物、金銭事情についてお話します。まずは SNS 事情からいきます。中国といえば情報統制ですが、中国国内にいても LINE、Instagram、Facebook などの SNS を利用できます。よく「情報統制だから SNS できないんじゃないの？」と聞かれますが、VPN というアプリをダウンロードして起動すると SNS を使用することができます。中国人は LINE の代わりに WeChat、Google の代わりに百度というアプリを代用しています。使えない SNS も多いですが、その分別のアプリを使っています。でも、そのほとんどのアプリは Facebook や Instagram と違って中国で使われているという感じです。YouTube は代用アプリが多く、中国人は見たい動画や使用用途によって動画アプリを使い分けているそうです。中国の動画サイトには日本のアニメやドラマ、映画、ライブ映像など日本のサイトでは閲覧できないものもアップされています。そこらへんは規制が甘いですね。（笑）でも、なぜかジブリだけは全編アップされている動画が一本もありません！！

次にお買い物、金銭事情についてお話ししたいと思います。みなさん、中国って物価が安いイメージがありませんか？私も中国に来る前は物価が安いイメージがありました。でも、それは物によりけりです。食べ物（海外の料理や食べ物を除く）、交通費（バスは1回約30円、地下鉄も最高150円以内）はとても安いです。でも、生活用品や洋服は日本の1.5倍～2倍くらいの値段です。観光地などで見かける安いブランド物の商品や衣服は偽物の場合がほとんどなので、値段も安いです。中国は中間がない国と言われていて、例えば、良い商品はめちゃくちゃ高い、悪い商品はめちゃくちゃ安い。つまり、中間の質で値段も安くもなく高くもない物が少ないという事です。ショッピングモールは海外ブランドが多く入っています。日本の店という GU、UNIQLO、earth、Honeys、MINISO などは色々な所で見かけます。じゃあ、中国人はどこで買い物してるの？と思うかもしれません。中国人は淘宝というアプリを使って買い物する人が多いです。淘宝というのは amazon と似ていて日用商品、食べ物などが売られていて、淘宝で買えない物はないとまで言われています。値段が安い商品が多く、上海市内では注文したら2、3日で商品が届きます。でも、偽物商品も多く流通しています。また、上海ではほとんどの飲食店に外卖という機能がついていて、携帯で商品を注文すると商品を自分の場所まで届けてくれるというシステムがあります。日本のピザ屋さんや寿司屋さんには家まで届けてくれる機能がついていますが、上海ではほとんどの飲食店にこの機能がついています。外卖はそのお店の従業員が配達するのではなく、専用の外卖業者がいて、その人を通じて買うという事になります。上海の街では外卖業者のバイクが至る所で走っているの、上海に来たら必ず遭遇すると思います。とても便利な機能ですね。私は上海で留学しているので、上海の情報程度で捉えてくれると嬉しいです。中国は広いので他の所へ行くともた色々変わってきます。今日の所はここまで。